



# くさばな しんぶん

2019年 年末号

2019 (令和元) 年

12月20日発行

通算第287号

## 《桜の木》

幼稚園の園庭の桜の木を伐りました。来年の春も、再来年の春も、おそらく3年後の春も花を見ることはできないでしょう。なんで伐るのですか、という声もありました。あの見事に大きく広げた偉容は、当分の間、思い出のあなたに去ってしまいました。

園の桜の木は、昭和30年度の卒園児保護者のみなさまが記念に、と苗木を植えてくださったものです。それがあんなにみごとに成長しました。もはや目通り約60センチ、したがって幹の周囲は約2メートル。こんなに成長しました。大きく手を広げるように花を展開させる様子はすばらしいものでしたね。

しかし木の枝の間を電線と電話線が走っています。太くなった枝が折れたり電線を揺すったりしたら大変なことになります。ことしの台風は無事でしたが、今後のことを考えると心配でした。

伐採した枝は園庭に置かざるをえず、結局今週いっぱい片付けられませんでした。ご迷惑をお掛けしました。太めの枝は何か役に立てる予定です。チェーンソーで切り分けてみる予定です。

幼稚園の周囲には大木があります。これが実は悩みの種なのです。木はその緑で人々に安らぎをもたらし、人々に木陰を与え、枯れ葉は大地を豊かにし、大気中から二酸化炭素を取り込み、代わりに酸素を供給し、住宅やさまざまな資材として生活を支えます。しかし落ち葉の始末や強風時の枝の落下、最悪の場合倒れて周辺に迷惑をお掛けすること。これは恐怖です。こうして大木を所有している人は、結局は伐り倒すことを選択します。伐り倒す費用はもちろん自己負担です。「緑」は大切です。しかしそれを所有している人たちは、今は本当に悩み、結局は木を厄介者にせざるをえなくなっています。これでいいのか、なんとかならないか、と思案しつつ。かたや地球温暖化をなんとかせよ、と叫ぶ声が響くその陰で。

## 《除夜の鐘》

この31日は大晦日。例年のとおり大行寺では除夜の鐘を撞きます。夜11時15分ごろから撞きはじめる予定です。大きな焚き火があります。お菓子、みかん、おつまみ、そして梅酒！もあります（車の方はゼッタイのNo!）。毎年この除夜の鐘での再会を楽しみにしている人もいます。極寒かもしれないので、暖かくしてお越しください。

理事長 山城 清邦



## 「安全にあそぶために・・・」

先日、園庭での自由遊び中に、あるお子さまがお友だちと一緒にポーターという遊具で遊んでいたところ、はすみで持ち手の部分に前歯をぶつけてしまいました。そこで再発防止のための対策として、ぶつけてしまった持ち手部分に、緩衝材としてゴムホースのカバーを取り付けました。

私ども保育者は、基本的な姿勢として、ケガの無いように、日々お子さまの動きをある程度は予測して環境を整えつつ、お子さまたちの遊びの見守りを行ってはいませんが、時には、私どもも予想しないような事態が起こることもあります。

ただ、そうしたでも、お子さまなりに考えて危険を回避する力は育てたいと考えております。正直なところ、そのあたりの兼ね合いはとても難しく、今回のように後手に回った安全対策となってしまうこともあります。ですが、まずは、私たちもさらに経験を積みつつ、今ある環境の中でお子さまたちが楽しく安全に遊べるように援助し、お子さまたちの成長のお手伝いをしていきたいと考えております。



カバーを付けました

(中央の赤い部分です)

## 「2学期もありがとうございました」

本日もちまして、2学期が終了いたしました。2学期は、保育以外にも運動会や遠足などの大きな行事もありましたが、いつでもお子さまたちが楽しみながら参加する姿が印象的でした。それまでの担任主体の保育からお子さま主体の保育に変わってきて、各クラスとも、それぞれの良さというか、味というか・・・言葉では上手く言えないのですが、そうした色彩が出てきたと思います。また、お子さま一人ひとりを見ても、色々なことにチャレンジする姿に成長を感じました。学年のまとめとなる3学期を前に、良い状態で2学期を終えることができたと考えております。2学期を無事に終えるにあたり、保護者の皆さまをはじめ、ご近所の皆さまのご理解、ご協力に改めて感謝いたします。ありがとうございました。



明日からの冬休み中、ケガや病気や事故には、くれぐれもお気をつけになり、ご家族皆さまで、楽しい冬休みをお過ごしください。1月8日(水)にまた皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。

園長 影山 幸江

## 私のおすすめの絵本

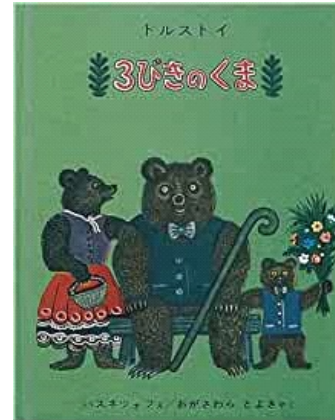
(この欄は教職員が交代で担当します)

## 私のおすすめの絵本

「3びきのくま」

福音館書店

トルストイ作



森の家にくまが3匹、大、中、小。カップも椅子もベッドもそれぞれ大、中、小。そこへ、女の子がやって来て、スープを飲み、椅子に座り、ベッドで眠ってしまいます。やがて、散歩から帰ってきたクマに見つかり、慌てて逃げるといお話です。

先日、子どもたちに読む機会があったのですが、私の娘が小さかった頃を思い出し、懐かしい気持ちで読みました。セリフがとてもリズムカルで、自然と声色も変えて読んでしまいます。ぜひ、声色を変えながら読んでみてください。

望月 朋子

## ☆ 保護者会だより ☆

今月は、典子先生・川尻先生にインタビューをお願いしました。



典子先生

Q.1 年末・年始の過ごし方は？  
家族と一緒に蕎麦を作り、大みそかに食べます。新年は、近くの神社に初詣をしてゆっくり過ごします。私の子供たち、親戚と賑やかな、お正月を過ごします。



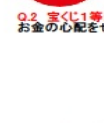
川尻先生

Q.2 宝くじ1等当たったら☆ 使い道は？  
世界一周の豪華客船に乗り、いろんな国を旅行してみたいです。そして、日本では体験できないような、エベレスト山に行ってみたり、島に行ったりしてみたいです。



川尻先生

Q.1 年末・年始の過ごし方は？  
今年は久しぶりに、家でのもんぴり・・・。片付けと木工をします。



川尻先生

Q.2 宝くじ1等当たったら☆ 使い道は？  
お金の心配をせず、ボランティアと慈善だけで生きていきます。



☆ インタビューのご協力、ありがとうございました。☆

担当： 有葉・畑山  
門田・狩俣